

科学基礎論学会 2015年度 秋の研究例会プログラム

日 付:2015年11月7日(土)

会 場:東京大学駒場キャンパス

参加費:無料(非会員:1,000円)

A会場(12号館1階 1212教室)

B会場(12号館1階 1214教室)

【A会場】

10:00~12:00 「数学から心へ—ウイトゲンシュタイン哲学再考」

オーガナイザー 岡本賢吾(首都大学東京)

- 1 入江俊夫 (文教大学)
「数学と心に関するウイトゲンシュタインの思考の連続性」
- 2 菅崎香乃 (筑波大学大学院)
「ウイトゲンシュタイン「心理学の哲学」最初期の思考」
- 3 岡本賢吾 (首都大学東京)
「いかにして内的関係の「像 (picture, Bild)」を作るか—後期 Wittgenstein の数学の哲学」

12:00~12:15 : 科学基礎論学会奨励賞発表及び授与式【A会場】

12:15~13:30 : 昼休み、企画委員会

【A会場】

13:30~15:30 「真矛盾主義の周辺」 ※来場者に
応じて英語使用

オーガナイザー 大森仁(京都大学)

- 1 小山田圭一 (東京工業大学)
「矛盾を認めることの難しさ」
- 2 藤川直也 (首都大学東京)
「Nothingness as the Complement of the Totality」
- 3 出口康夫 (京都大学)
「Compartmentalization of Trivialism: Nishida on Contradictory Self-identity」

【A会場】

15:45~17:45 「New Developments of Barwise
and Seligman's Channel
Theory」 ※英語使用

オーガナイザー 菊池誠(神戸大学)

- 1 Seligman, J. (Auckland 大学)
「Knowledge in and about Situations:
Edgington's response to Fitch's Paradox」
- 2 山田友幸 (北海道大学)
「Parametric Constraints in Channel Theory」
- 3 下嶋 篤 (同志社大学)
「The Barwise-Seligman Model of Representation
Systems: A Philosophical Explication」

【B会場】

13:30~15:30 「現実とフィクションの相互作用:行
為・理由・実在性」

オーガナイザー 西條玲奈(北海道大学)

- 1 高田敦史 (なし)
「事実・虚構・理由—規範的理由とフィクションのパズル」
- 2 松本大輝 (東京大学)
「虚構の情動のパラドクス:映画のモンスターを怖がる
ことはいかにして可能なのか」
- 3 筒井晴香 (東京大学 UTCP)
「フィクションと行為—2.5次元から考える」

【B会場】

15:45~17:45 「鈴木貴之著『ぼくらが原子の集ま
りなら、なぜ痛みや悲しみを感じる
のだろうか』合評会」

オーガナイザー 高村夏輝(松陰大学)

- 1 鈴木貴之 (南山大学人文学部)
「意識のハード・プロブレムについて生産的に議論する
には」
- 2 金杉武司 (國學院大學文学部)
「説明上のギャップは本当に物理主義にとって無害な
ものなのか?」
- 3 高村夏輝 (松陰大学経営文化学部)
「知覚内容のパースペクティブ性と現実性」

科学基礎論学会

〒108-0023 東京都港区芝浦2-14-13 MCKビル2F 笹氣出版印刷株式会社内

TEL: 03-3455-4439 URL: <http://phsc.jp/> E-mail: kisoron@sasappa.co.jp